

虹の家 お別れ会

シャローム若葉では、ご利用者からのご希望によりお別れ会を行っています。御覧の風景は故人の居室にてご家族と職員が一同に会し、施設付のチャプレンによって司式が行われているところです。



又、先日は職員ご家族のお別れ会を桜木本部 3F 礼拝堂にて行いました。

ヨハネによる福音書 11 章 25 節には『イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。』と記述されています。この聖書の御言葉を希望とらえて行うのがシャローム若葉のお別れ会です。

現在、シャローム若葉グループホーム虹の家では、1 部屋居室に空きがございます。

ご家族、或いはご友人でご利用を検討されている方がいらっしゃいましたら、是非ご相談下さい。

問合せ先：シャローム若葉 グループホーム虹の家
TEL043-235-4867 (寺崎・小林)

～家族の会サロンより～

家族の会サロンは毎月第3木曜日に若松事業所ふれあいサロンにて 13:30～15:00 まで開催中です！

今後の予定
11月17日、12月15日



若松



作品展
通所介護事業
【デイサービス
共通】

桜木



※今月はボランティアさんによる展示はお休みです。また次月をお楽しみに！

展示作品募集中！

ふれあいサロンに作品を展示してみませんか？詳しくはこちらまでお問い合わせ下さい。
お問い合わせ先 043-235-4866

発行：社会福祉法人 三育ライフ



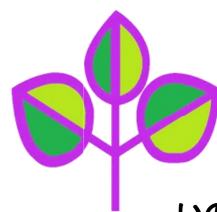
理事長：東海林 正樹
施設長：高幣 義嗣
広報委員会：

岩井由紀子・芳賀卓・永島慎志

お問い合わせ先：
info@shalomwakaba.com

シャローム若葉 桜木本部
第1 デイサービスセンター TEL: 043-234-5111 FAX: 043-234-5119
シャローム若葉 若松
第2 デイサービスセンター TEL: 043-235-4866 FAX: 043-235-4850
グループホーム虹の家 TEL: 043-235-4867 FAX: 043-235-4868
ライフハウス
居宅介護支援事業所 TEL: 043-214-3450
訪問介護事業所 TEL: 043-214-5567 ライフハウス共通 FAX 043-234-8411
福祉用具貸与事業所 TEL: 043-309-8598
千葉市あんしんケアセンター 桜木
TEL: 043-214-1841 FAX: 043-214-8787

【編集後記】気がつけば 11 月。今年も今年も残すところあと1ヶ月半です。最近困っているのが、「野菜が高い！」ということ。以前よりは、下がってきましたが、まだまだ買うときにはお財布と相談しながらかな？これからは野菜たっぷりのお鍋などで寒い季節に温まりたいものです。



こんにちは

2016年 11月号

いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕えることによって 神の愛の実現に奉仕する
HP / <http://www.shalomwakaba.com>

平成 28 年 11 月 15 日発行



千葉のお勧め
スポット

⇒ランチバイキング～ケーズハーバーまでミニウォーキング
⇒遊覧船「あるめりあ号」で幕張沖までカモメと一緒に周遊

地域と福祉のあんしん懸け橋

秋も深まり早いもので今年も残すところ一ヶ月半となりました。

秋と言えば、皆様はどのような秋を思い浮かべますか？

食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋と様々な秋があります。中でも私が真っ先に思い浮かぶもの、スポーツについて書かせて頂きます。

私が介護の仕事に入り 14 年半が過ぎました。平成 14 年に特別養護老人ホームで働かせていただき、介護技術の基礎を学びましたが、特養での仕事では入居されている方々は地元の方が少なく地域の方々や、まして私の住んでいる地区の方々と直接接することはありませんでした。

平成 16 年からデイサービスへ異動となり、送迎等を通じてご利用者やご家族、更には送迎先のご近所の方々や挨拶や会話する機会も増え徐々に様々な情報や相談を戴くようになりました。

平成 21 年よりシャローム若葉の若松事業所に、平成 25 年より桜木事業所で勤務し、デイサービスの送迎だけでなく、地域で活動するボランティアさんとも顔見知りの方が増え、私の住まいの自治会はもちろん職場近隣の自治会や同業の方々等からゴルフ、ボウリング、バトミントン、卓球等々、球技を中心としたイベントのお誘いを頂いています。

一緒に汗をかき懇親会に参加させて頂き地元の方々の貴重なご意見や率直な感想などを頂戴しています。

大好きなスポーツを通じ地域とのより良い関係作りに貢献出来たらと考えています。

私はスポーツに楽しく参加しており、だからこそ長続きできていると思っています。

今、第1 デイサービスではリハビリに力を入れています。長く楽しんで頂けるように努力していきたいと思ひます。



第1 デイサービス
生活相談員 小谷裕司

あんしんケアセンター活動報告～若葉区ソーシャルワーカー連絡会～

昨年度より若葉区の4あんしんケアセンター共同で若葉区ソーシャルワーカー連絡会を年3回開催しています。

病院・老人保健施設・行政機関・障害分野・あんしんケアセンターとそれぞれ異なる機関で活動しているソーシャルワーカー達が集まり、情報交換・ネットワーク作りを目的にそれぞれの業務について学ぶと共に毎回テーマを決めてグループワークや講義をしています。

同じケースであってもそれぞれの機関で着眼点も支援方法もかわり、毎回様々な気づきをすることができ、時間が足りないほどに充実したものとなっています。

私自身が連絡会に参加して改めて感じたことがあります。

1. 一人のソーシャルワーカーができることは限られている。
2. 状況を見極め、多くの視点で捉えることが重要である。
3. 本人の現有能力を見極め、自立支援を行うことを忘れてはならない。
4. 自分の機関でできる最大限の支援を行い、他の機関や資源と協力していくことで初めて支援ができる。



地域包括ケアシステムの図

若葉区ソーシャルワーカー連絡会は次回2月に「あんしんケアセンターの業務と平成29年度介護保険改正について」開催する予定です。これからまた準備に奔走していきます・・・！



※写真
10/28(金)開催
第5回ソーシャルワーカー連絡会
「成年後見制度について」



スタッフのひとり言葉 ～グループホーム虹の家 浅谷 正彦～

昨年12月よりグループホーム虹の家に移動になり10ヶ月程立ちました。

当初右も左もわからないまま、手探りの状態で日々を過ごしてまいりました。通勤も1時間弱かかるのでシフトによる出勤時間に身体が対応せずに少し痩せることが出来ました(笑)

今年の健康診断では、メタボに引かかることなくスルーできそうです。

そんなこんなで日々を過ごしており好きな推理小説を読む暇もなく、お魚を釣りに行く暇もなく、ギターを弾く暇もなく・・・

暇があればその時間を全て睡眠に使ってしまったからです。

グループホームで働いてみて、その中で暮らしているご利用者が

いきいきと過ごしておられるのを見て、毎日楽しく働かせていただいております。

介護に従事する人の中にはお世話をしていると考えている人もいるかもしれませんが、私はどうも楽天的なのかお世話をしているとこの感覚がなく一緒に暮らして一緒に生きているんだという気持ちで過ごさせてもらってます。

もちろん安全という面には常に気を配りながら細心の注意をはらっております。ホームの中で暮らす人たちの笑顔や笑い声を聴いていると自分の心が喜んでいるのが良く分かります。

これからも共に生きて楽しんで行きたいと思っております。



芸術の秋 作品展作成中

第1デイサービスでは11月7日(月)～11日(金)まで作品展が予定されており、その作品展に向けて、プログラムとしてクリスマス飾りを作成しました。

クリスマスツリーは、コーヒークップの外側に緑系の毛糸を巻いてその上にスパンコールやボンボンで飾り付けをし、最初は難しいと言いながら出来上がったなら、「綺麗だね」「もうすぐクリスマスなのね」など、お話ししながら作成されました。

介護予防デイサービスと認知症デイサービスが統合して初めての作品展で、展示スペースを様々な場所に設置し、歩行訓練・階段昇降訓練も兼ねて作品を御覧になり、「この色使いは良いわね」「この文字は上手に書けてるわね」など、感想を述べながら会話も弾んでおられました。短時間デイサービスのご利用者様も趣味で編み物や水彩画を持参され、展示致しました。



第2デイサービスでも、作品作りが行われ、11/14～18までの期間、若松事業所にあります「ふれあいサロン」にて展示をする予定になっています。

(第1、第2日の作品は4ページにてご紹介させて頂きます)

ヘルパーステーション紹介

～在宅生活を応援します～

訪問介護は、ご利用者の在宅生活における自立支援、また、ご家族の介護負担の軽減を目的として、ホームヘルパーが訪問し、介護計画に沿ったサービス提供を行います。

93歳Y様のご家族にお話を伺いました。8月にご主人を亡くされ、一人暮らしです。訪問介護を一日2回、他にショートステイ等を利用し、近くに住むご家族が介護をされています。「母は家族の一員。母の“思い”を一番に“我が家”での生活を継続させたい」



98歳0歳
これから
お風呂に入ります



Y様
娘さんと ハイチーズ!!



●訪問介護を長年利用して・・・ヘルパーさん達との交流で人とのコミュニケーションをとることができています。個人としての関わりが持てているのです。施設では難しいことです。それが良い意味での刺激になり、季節を感じたり、話題も広がり、それを伝えることもできています。人と接することで、会話はもとより身嗜みを整えることも忘れません。お化粧もします。私も積極的に介護を学び、母に寄り添い、チームの一員として関わっていきたくです。